

# 『源氏物語』の心を読む

## ～夕霧の巻・上～

開講計画

全12回／各90分

回	日付	曜日	10:30～12:00
1	9/10	水	源氏の長男・夕霧、柏木の未亡人・女二の宮を思慕する
2	9/24	水	女二の宮の母・御息所、物の怪に患い小野に移る
3	10/8	水	夕霧、寂しい小野の山荘を見舞う
4	10/22	水	夕霧、母と小野にいる女二の宮を訪問し泊まり、女二の宮に求愛するも、拒絶される
5	11/12	水	女二の宮、夕霧の手紙を無視する
6	11/26	水	女二の宮の母、祈祷の律師から真相を聞き、心痛する
7	12/10	水	夕霧からの二通目の手紙
8	12/24	水	女二の宮の母、夕霧に返書する
9	1/14	水	夕霧の正室・雲居雁、その手紙を奪い隠す
10	1/28	水	夕霧、ようやく母・御息所からの手紙を見つけ、返書を送る
11	2/18	水	夕霧からの返事を待ち、女二の宮の母・御息所、病状が急変する
12	2/25	水	女二の宮の母・御息所、落胆絶望し、逝去する

受講料

20,000円(教材費別)

定員

35名

## 生真面目な源氏の長男夕霧なのに、友人の未亡人に恋してしまいます

源氏の長男・夕霧は、父への反面教師として、「まめ人」(生真面目な人)と評価され、「さかしがる」(賢明な人のように振る舞う)人でした。その夕霧が、こともあろうか、友人の未亡人・女二の宮に恋してしまいます。女二の宮は、源氏の正室・女三の宮の姉です。夕霧は、女二の宮に拒まれますが、必死で彼女の母に手紙を書きます。また、その母から夕霧に届いていた手紙を、夕霧の正妻が奪って、大騒動になりました。その結果、夕霧から母への返事がなかなか来ず、返事を待っていた母は病気が進み、死んでしまいます。

講師

本学名誉教授

うめの こ

梅野 きみ子

### テキスト・教材

初回、教室にて、プリントを配付します。同時に、テキストの販売もします。お持ちでない方は、講座申込み時に注文して下さい。テキスト以外に、他の本の持ち込みも自由です。

① 宮内庁書陵部蔵青表紙本『源氏物語 夕霧』

編者 神作光一 新典社 1,870円(税込)

② 仮名変体集

編者 伊地知鐵男 新典社 385円(税込)

※①は必須、②は任意 ※2025年1月現在